



なみ き

埼玉県議会議員

無所属
県民会議
SAITAMA



並木まさとし

発行者
連絡先

埼玉県議会議員 並木正年
〒365-0038 鴻巣市本町 3-2-19-B
TEL 541-7777 / FAX 543-8000

日頃の活動は
ホームページで！

並木まさとし

検索

namikimasatoshi@soleil.ocn.ne.jp



産業基盤づくりを重点的に支援する産業誘導地区に鴻巣市箕田地区を選定！



埼玉県では第3次田園都市産業ゾーン方針に基づき市町村の産業基盤づくりを重点的に支援する地区を「産業誘導地区」に選定しています。

今回、鴻巣市(箕田地区)とふじみ野市(国道254号バイパスふじみ野地区)の2地区を産業誘導地区として選定しました。

- ・場所 鴻巣市箕田および寺谷地内
- ・区域面積 約16.7ha(市街化区域編入面積約17.0ha)
- ・事業主体 埼玉県 企業局
- ・事業期間 令和2年度～令和3年度(予定)
- ・事業予算 約52億円

埼玉県と鴻巣市をつなぐ ～令和2年度の予算要望～

鴻巣市の課題を前進させるべく大野知事に来年度の要望をおこないました

- ・「こうのとりの飼育実現に向け、県独自の補助や交付金の充実、関係法令手続き、技術支援
- ・生物多様性を向上させる環境保全型農業および生産された農産物のブランド化に向けた県独自の事業や農業生産者に対する補助・交付金制度の拡充
- ・エコロジカル・ネットワークの形成に向けた県による独自事業、市町村に対する補助・交付金の充実
- ・学校職員の増員(連絡調整等の業務を補助する業務アシスタントの配置、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーなどの増員
- ・農産物直売施設および地域振興施設の整備支援(道の駅への農産物施設・地域振興施設の整備に係る財政支援
- ・第二次救急医療機関(病院群輪番制病院)に対する補助金制度の設置。(第二次救急医療を担う医療機関に対する新たなインセンティブの創出をはじめとした広域的な支援)
- ・フレイル対策における健康づくり事業の強化
- ・水銀灯対策(防犯灯に使用されている水銀灯のLED更新に係る総合的な財政支援)
- ・県内全自治体が中学校までを対象としていることから、乳幼児医療費支給事業補助金の対象年齢の拡大
- ・県道鴻巣・桶川・さいたま線の本町交差点の改良(渋滞対策)
- ・県道内田ヶ谷線、天神5-3-21前 歯抜け歩道の整備
- ・県道行田蓮田線 郷地431前 郷地836前 歯抜け歩道の整備
- ・県道鴻巣羽生線 鴻巣1334前交差点の地点名表示版の設置(三谷橋)
- ・県道行田羽生線 屈巣3566前交差点の地点名表示版の設置(屈巣北)
- ・危機管理体制の強化(元荒川の護岸整備・情報通信システムの再構築)
- ・上谷2174-14交差点の安全対策(信号機設置)など



元荒川の整備に向けた現地調査

10月12日の台風19号の被害により今なお避難所生活を余儀なくされている方がいます。被災された方には県営住宅の提供など早期の生活再建に向けた支援が求められます。市内の元荒川では数カ所(三谷橋付近・郷地橋付近・中斎橋付近など)で越水による道路冠水、農業被害がありました。

農業被害については鴻巣市や川越市など10市町で知事が指定する特別災害に指定されたことで、12月下旬を目途に肥料、種苗の購入費の補助や経営再建に必要な資金融資が決定されます。

河川の整備については既に県土事務所に要望をあげていますが、中でも緊急性を要する箇所の現場を県職員に立ち会っていただき、今後の整備計画を協議しました。

元荒川は天端(管理用通路)の高さが一定ではない為、わずかに低い箇所からでも越水することが今回の台風で再認識されたと思います。県からは早期の整備確約もいただきましたので、今後も現場に足を運びながら進捗状況を確認していきます。



郷地落排水樋管付近



旧郷地橋付近



フラワースタジアム裏手

* 特別災害の指定とは…災害によって一定規模の被害があった場合にその災害を知事が指定する。
特別災害の指定地域…鴻巣市、川越市、熊谷市、東松山市、深谷市、桶川市、久喜市、坂戸市、嵐山町、川島町、吉見町



生出塚自治会 防災訓練

台風19号による埼玉県内の住家被害状況 棟数		鴻巣市内の状況
全壊	112	0
半壊	166	0
一部破損	351	3
床上浸水	2,255	0
床下浸水	3,370	17
11/21 現在 合計	6,254	20

消防第2分団で管轄する生出塚自治会(1丁目313世帯・2丁目382世帯)の防災訓練に参加しました。生出塚自治会は約40年前に造成された地区ですが、現在は高齢化の進展から空き家も目立っており、1人暮らしなど災害時の要援護者の課題があると言えます。

そこで、今年5月には埼玉県住宅供給公社、鴻巣市、生出塚自治会、(公)鴻巣市シルバー人材センター、(社)在宅生活支援パートナー協会による適正な空き家管理、空き家放置の減少を図る協定を締結しています。この取り組みとしては在宅生活支援パートナー協会との協定によって空き家の換気・清掃・目視点検業務が実施されます。

消防団としても毎月第一月曜日と第3日曜日に消火栓と防火水槽の点検と地区内の巡回をおこなっています。国際目標SDGs(エス・ディー・ジー・ズ)誰ひとり取り残さないことを目指す目標を掲げていますが、AIやアプリをはじめとする先端技術に頼ることなく、高齢者や要援護者の目線に立った情報の周知も必要だと感じます。電話応答サービス(防災無線の内容確認)048-542-2009



昭和45年(1970)鴻巣市本町生まれ/鴻巣幼稚園/鴻巣東小学校/鴻巣中学校/埼玉栄高校(サッカー部)/亜細亜大学経済学部国際関係学科卒/セントラルワシントン大学AUAP課程修了/鴻巣幼稚園保護者会副会長/鴻巣東小PTA副会長/鴻巣市商工会青年部第31代部長/第8回このす花火大会代表/鴻巣市消防団第2分団員(23年目)/鴻巣市議会議員2期/H27年~埼玉県議会議員/産業労働企業委員/自然再生循環型社会対策特別委員/家族・妻・長女・長男・愛犬レオ